

## くちなしの花

西山和宏

我が家の庭にも、近隣の家々にも塀越しに「くちなしの花」が見られる。

「くちなしの花」は枯れても散らない。



桜や椿のように、潔くも、ドサツとも散らない。  
枯れて醜いまでに変色しても枝に留まっている。  
この世に未練を残して去りがたき振る舞いは憐れすら漂わせる。  
その「くちなしの花」の歌を渡哲也が唄っていた。  
作詞者の「水木かおる」が、  
「太平洋戦争のときの、特攻隊員の遺書に、この花の名が、  
しばしば出てくるのに、目をひかれたためであつたらしい。」



と、津本陽は、その著書「男の流儀」に書いている。  
作曲は遠藤実。

<http://duarbo.air-nifty.com/songs/2011/11/post-a123.html>

この話には、津本陽も思い当たることがあったという。  
さらに「男の流儀」には、次のように続けられている。

「学徒出陣の少尉たちのグループも、戦時中、くちなし会という名を  
冠した集会をもよおし、軍刀の飾り紐をくちなし色に染めていた。

花言葉で純潔を意味する『くちなし』に、中断された青春への、尽きぬ思いを託していたようである。

また、軍人としていやおうなく戦場に立たされる、抵抗しがたい国家権力への、はかない批判をこめた「口無し」の意をもふくめていたと考えられる。」 と、津本陽は綴っている。

「口(くち)無(な)し」は「口惜(くちお)しい」でもあったろう。

To Kazu

Oishi Keiji

「くちなしの花」はカラオケに行ってもあまり唄わない人に「何か唄ってよ」と、カラオケ好きが何度か催促した時、仕方なく、恥ずかしながら勇を決して？唄う歌のひとつです。

渡哲也がステージで唄い出しの時の雰囲気そのままに・・・。

そう、上手に唄わない方が雰囲気のでるめずらしい、それでいてさびしい唄です。  
貴兄の解釈を読んで、またURLをクリックして「二木紘三のうた物語」を読んで  
作曲家・遠藤実が語った思い出・・・。

水木かおるさんの詞を受け取った私の目が、一番の「いまでは指輪も まわるほど」のところでも止まった。

まだマーキュリー専属のころ、結婚式も挙げないまま苦勞ばかりをかける妻に、いつかは指輪のひとつも買ってやれるようになりたいと思っていた。西荻窪駅前の時計店のウィンドーに飾られた小さなオパール指輪を毎日のようにじっと見詰めていた。

「おいしいものは一番先に食べようよ」と水木さんに言って、歌い出しに持ってきた。

・・・そんなはなしなど初めて知ったことでこの歌への関心がひとつ増えました。

クちなシの花、匂いはとてもいいのだけどその為か毛虫がいっぱい付く花としか認識していませんでしたがひとつの花にも物語があるんですね。

戦争と言えば5日に【梅崎春生 没50周年記念】小説『桜島』をとことん語る  
という参加50名限定の集いがあり、森くんと参加します。

20年鹿児島市内が焼け野原になったあともアメリカ軍の上陸に備え桜島で日本軍は見張りをしていたのですね。戦後70年、当時の鹿児島を知らないぼくにとってこの本の内容は、そして語られる内容は興味深いものがあります。

ただ変に偶然なのが（これは全くの余談ですが）先日の新幹線の焼身自殺の犯人の名前が「林崎春生」 だったこと  
梅と林だけの違いだけ・・・ちょっと気になってしまいました。梅崎氏の命日は7月19日でしたけど。

To keiji

from kazu

=私はカラオケはカラッキシで やりませんが、そんな歌でしたか！

終戦前、ラジオから「軍管区警報、軍管区警報、敵機来襲、敵機来襲敵機、種子島上空」と流れたときには、敵機は、  
鹿児島上空でした。

桜島を背景に、双胴のロッキードP38ライトニング米機との空中戦を見ました。体当たりしても壊れないように見  
えました。落下傘で降下するのも見ました。終戦から数年経っても鴨池の飛行場には日本軍の練習機が何機も残って  
おり、風防の防弾ガラスは、火を点けると燃えるので取りにいったものです。

ところで、桜島、桜の名所でもないのに桜島とはいかに、その昔、桜島忠信という人があの辺りを治めたことから  
桜島と呼ばれるようになったと聞いております。

さて、真実は如何に！

種子島は、種子島氏でしょう。

「桜島」は読んでみます。

● To kazu&keiji

from tatsuo

=西山くんの文章もいいが、それを読んで書いた大石くんの文章もまたいい。

お二人の文章からいろいろなことを知り、また感慨にふけたが、遠藤実のあの立派な髭も思い出す。

NHKのBSテレビで遠藤実の特集は何回も見たことがあるが、演歌の大御所は作詞家・作曲家を問わずさまざまなエ  
ピソードを持ち、苦しい生活の中から、たくさんの名曲を生み出している。

遠藤実はこの「くちなしの花」の他に「みちづれ」や先日久しぶりにBSプレミアムで見た梶光夫「青春の城下町」  
など昭和を代表し後世に残る演歌を作曲していて、大好きである。演歌好きにとっては忘れられない作曲家である。

ついつい脱線してしまってゴメン

●=大石さん、こんにちは

メール ありがとうございます。感謝！

● 西山さん、こんばんは

ご無沙汰いたしております。

お変わりなく お過ごしのことと 存じます。

大石さん より あなたの エッセイ 転送され 読ませて いただいております。

くちなしの花は どことなく 少し 寂しげな感じのする花と 見受けられます。

渡 哲也 の歌をカセットでよく 聞きました。

さて、話は変わりますが 海外関係に 長らく 携わっていらしたので NY駐在も4年8ヵ月 経験しました。取引先は 繊維関係でしたので jewish (ユダヤ人) が多かったです。祖国のため アメリカより かなり 送金されて いたようです。イスラエルは 中東の中では金持ちで 軍事力も 備えております。それで 悪いですが この人たちを 日本人同士で話するときは 九ーさんと 使っていました。(ジューイッシュとは 言えませんので・・・) あまり よい言葉では ありませんが・・・では また エッセイ 期待しております。お体に お気をつけて お過ごしください。

木場 祥雄

● 大石、隈元さん

木場より。

鹿児島地方は 今年は 雨が 多いようですね。

西山さんの 「花エッセイ」 読ませていただきました。

文中の url も 開きました。二木 紘三さんの うた物語も いいですね。

くちなしの花 渡 哲也 の歌 は よく聞いており、私の長年 歌わしてもらった歌です。

そのほかの 歌も よろしいですね。

いま 安倍政権 では すこし 変な方向に 世の中が 進んでいくような 気がします。

私も まだ 4-5歳であったため よく 覚えておりませんが 鹿児島の焼き野原は印象に残っています。

20年4月に 大龍幼稚園入園 すぐに 戦況悪化のため 休園に入り よく 21年4月に屋根だけの建物 (掘立小屋) で 地べたに 膝をついて 学んだこと覚えています。

新校舎は 3年になってからと 記憶しています？

それに 父親を 太平洋戦争で 亡くしており、 祖母、母で育ちました。

良い思い出は あまり ありません。

会社に入り、 アメリカへ 仕事でビジネス出張した折、ニューヨーク マンハッタンの エンパイアステートビル (昭和15年建造) ワシントンブリッジも同じ時期？

西から東へ 抜けるまで 5,500キロ (飛行機で 6時間 時差 3時間など) よくも こんな国を相手に 戦争したな・・・と思いました。

(日本は 西から東へ 200キロ? こんな 小さい国で よく 戦う気になったな?)

当時の 政権者 たちは どんな 考えで 国の将来を見据えていたのかな?

あほらしく なってきます。

今の 安倍政権も 同じような あほ・・・かも しれません。

何れにしろ 中東での 支援策に発表するのに イスラエル国旗を背に発表するなど全然 センスなし、私どもが 中東諸国を ビジネス出張の時は イスラエルのビザを別個にし、他のアラブ諸国に気を遣って ビジネス旅行したものです。

(アラブ諸国と中が よくなかった。イスラエルは 九ーさんが 多く アメリカとの関係も深かった)

以上 くどくどと 話してしまい すみません。

また よろしく

木場 祥雄

木場さん、おはようございます。

和宏

ニューヨーク駐在 4年8ヵ月とは凄いですね！

私が最初にニューヨークを訪れたのは1973年でした。  
エンパイアステートビル、自由の女神のクラウンにも登りました。  
その後数十回訪問し、通算で数カ月はニューヨークに滞在しました。大好きな街です。  
定宿はマリOTTマーキース、必ず「サッポロ」で食事しました。  
是非、ニューヨーク4年8ヵ月駐在の思い出、逸話など書いてください。楽しみにしています。

西山さん

おはようございます。

あなたも NY 数十回の訪問 すごいですね。 マンハッタンは ほとんど 見学されていることと思います。  
私は 最初に アメリカ に上陸したのは 1973年5月に 中南米諸国へ ビジネス出張のため サンフランシスコに乗り継ぎのため 朝 着いて 時間あったので ゴールデンブリッジ まで タクシーを飛ばして見学したのを覚えています。

わずかな 時間 1~2時間でしたが 立派な橋 歌にもある 金門橋 感激しました。

その後 東海岸 ニューヨークを 訪問したのは 1974年でした。 その後 4-5年の間、年2回 2月、11月の商談時期に訪問しておりました。 2月のNYは とても 寒かったことを思っています。あまりの寒さに 市内をあるくのに ビルの中に一度入り 体を温めて また 歩くといった様なこともありました。 カナダ モントリオールに行ったときには 風雪のため温度 マイナス15度 体感温度 20度以下 外出しないよう ホテルで待機するように指示 窓から 車のスリップするのを半日 窓から見て 過ごしたこともありました。 まあ 冬は寒かったこと 覚えています。

ナイアガラ滝も 凍って 水の落ちるのも 半分以下になっていました。

その後 1983年10月から 1988年6月まで NY マンハッタン ロックヘラーセンター11F (5番街50丁目)

家は ロングアイランド ベイサイド で 過ごしました。

滞在中の 出来事は チャンスあれば またの機会にします。

私は 1966年から 1968年 2年半 東南アジア タイランド バンコック の 現地資本との合併会社 (合繊維維レーヨン混紡織物 織、染め加工) に出向 この時は 26歳で 独り者 よい経験 させてもらいました。(当時は エイズなどなき時代で ローソク病というのはありました)

では また

木場 祥雄

メールありがとうございます。

数十回訪問は間違いで十数回でした、

1回で1週間程度はいましたので通算で数カ月にはなります。

ニューヨークはビルばかりでなく自然の美しさなどの書いてください。

楽しみにしています。

=====

西山 和宏

木場 さん

九一(くっぴん)を一瞬 見過ごすところでした。

当時、大龍幼稚園に入園とは凄いですね！  
長椅子が机替わり、下は地べたでした。  
御父上が戦死され、大変であったと思います。  
よく頑張られました。

●大石よりみなさんへ

=<ちなしの花がいつの間に「わが心のニューヨーク」に発展しました。ところで、  
国際ビジネスに詳しい西山、木場の両氏のやりとりにあった業界隠語「九一」が気になりネットで調べてみました。

ただ面白いことに十（ジュウ）と言うと怪しまれるから九（キュウ）を使ったそうだが中国語では九をジュウと発音することをご存知かな？尤も普通に発音しても通じないけど。

以下ユダヤ人についての一つの意見。文字群をタッチします。

<https://books.google.co.jp/books?id=R1C9BgAAQBAJ&pg=PT93&lpg=PT93&dq=%E4%B9%9D%E4%B8%80+%E3%83%A6%E3%83%80%E3%83%A4%E4%BA%BA&source=bl&ots=MdhrqE6OCz&sig=AaEjPEpmlfDPSJxgdwIVImOqlpQ&hl=ja&sa=X&ei=vECVVe6-KZXm8AWEEnY3IAw&ved=0CCIQ6AEwCA#v=onepage&q=%E4%B9%9D%E4%B8%80%20%E3%83%A6%E3%83%80%E3%83%A4%E4%BA%BA&f=false>

●隈元さん、そしてみなさんへ。

西山です。こんにちは、メールありがとうございます。

隈元さんには、いずれお願いしたいと思っていたことがあります。

「大西郷の遺訓と精神」南洲翁遺訓刊行会

著者黒木 弥千代

この本の 152 頁にあります写真では 西郷隆盛と勝海舟が床の間に平行に座っています。



ところが、明治神宮外苑の聖徳記念絵画館に収蔵されている右の絵では、勝海舟が床の間を背に、しかも刀を左に置くという不作法で無礼な仕草が描かれています。

私は、左の絵の方が真実だと思っています。

そこで、左の絵は、鹿児島のだこかにあるのではないかと、その探索方をお願いします。

チョットした大発見になると思います。

絵画館の絵の構図は、本来ならあってはならないものです。

何等かの意図で、あえて描かれたのでしょう。

絵画館の絵の寄贈者は隆盛の孫の西郷吉之助と勝 精（くわし）精は、勝海舟の婿養子

精は、徳川慶喜の 10 男です。描いたのは、結城素明（ゆうきそめい）、その本名は森田貞松で貞松の名付け親は勝海舟です。大石さん、皆様にも 探索方のお声掛けをお願いします。

●西山さん 隈元です。こんにちは。

早速面白い問題を投げかけてきてくれましたね。

詳細を書留めました。西山さんの文章に出てくる「西郷吉之助」は隆盛の孫で参議院議員で、手形の事件を起こし、末節を汚した人だろうと思います。昔、私の東京に住む同僚から、西郷さんと同じマンションに住んでいたが、ひっそりと亡くなったという話を聞いたことがあります。

1997年に亡くなっているようですから私たちが57歳で、最近と言えば最近まで生きておられたことになります。

どこまで分かるかですが、少し調べてみます。

くまもとつお

隈元さん

西山より

早速のレスポンスありがとうございます。

あの江戸開城談判の絵には何か秘密があるかもしれません。

あなたの探索しだいでは、絵画館にあの絵について、おかしいのではないかと質問状を差し出したいと思っています。

吉報、辛抱強く待っております。